

科目名		言語療法技術Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
臨床で役に立つような知識にする。 国家試験対策として役立つものにする。									
〔授業全体の内容の概要〕									
リハビリテーション医学、社会福祉・教育、言語聴覚障害学概論の分野の総復習。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
国家試験の模試で該当分野で6割以上の得点がとれる。									
回数	講義内容								
1	リハビリテーション医学①								
2	リハビリテーション医学②								
3	リハビリテーション医学③								
4	リハビリテーション医学④								
5	リハビリテーション医学⑤								
6	社会福祉・教育①								
7	社会福祉・教育②								
8	社会福祉・教育③								
9	社会福祉・教育④								
10	社会福祉・教育⑤								
11	言語聴覚障害学概論①								
12	言語聴覚障害学概論②								
13	言語聴覚障害学概論③								
14	言語聴覚障害学概論④								
15	言語聴覚障害学概論⑤								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版					大森孝一ほか		医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									